

不易と流行

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝

文責 三宅 智

●夏休みのスタートに講習実施！【1・2年生夏季講習（商業検定）】

夏休みの初めである7月26日・27日に、商業検定に関わる講習を実施しました。1年生は、全商簿記実務検定試験2級対策と全商情報処理検定3級対策の2つの講習を行いました。9月に受験する情報処理検定は、エクセルを使った初めての検定となるため、表計算に慣れておく必要があります。

2年生は、全商ビジネス計算実務検定1級対策と、全商情報処理検定1級（ビジネス情報部門）の内容で講習を行いました。どちらも1級受験となるため、難易度が高く大変です。

夏休み初日から2日間、暑い日となりましたが、それぞれの教室で理解を深めようと前向きな取り組みが見られました。また、進学講習（国・数・英）に参加している生徒もあり、それぞれ目的を持って取り組みました。

講習を受講した生徒からは、「エクセルの表計算にぜんぜん慣れていなかったけど、講習で少し慣れることができた」「関数の使い方について学べた」「絶対番地の使い方を理解することができた」（1年生）といった感想がありました。

●検定試験の出題変更に気をつけよう

9月の全商検定は9月11日実施の「全商英語検定」と、9月25日実施の「全商情報処理検定」の2つの検定があります。

今年度の全商検定は、出題範囲や問題の形式が変更されている試験が多く、全商情報処理検定も一部の出題形式に変更があります。新しい問題集を使っている1年生は問題なく内容変更に対応

できますが、2年生・3年生の受け直しの検定がある生徒のみなさんは、全商のWebページから変更内容の確認を行いましょう。全商の出題範囲を確認すると、用語についても新しいものが増えています。



<http://www.zensho.or.jp/puf/download/exam/range/info.pdf>

（全商公式Webページより出題範囲）

一部の問題の出題形式が変更になっていますので、過去問だけに頼るのではなく新形式の模擬問題を参考にしましょう。

現在、定期考査に向けての学習も並行して行っていると思いますが、検定対策もぜひとも計画的に学習してください。



●いよいよ、9月16日が近づいてきました【就職解禁日迫る】

いよいよ9月16日の就職解禁日が近づいてきました。すでに、就職希望の3年生は夏休み中に求人情報を確認したり、企業見学（インターンシップ）などを行ったり、面接練習を行ったりしていると思います。希望する就職先への希望が叶うよう、自分の考えをしっかりとまとめておきましょう。

面接で話すべき内容は「志望動機」と「自己PR」が大切になります。



＜志望動機＞

「なぜ」「どうして」（具体）を説明できるように準備しましょう。ただの「きっかけ」を語ることのないようにしましょう。

＜自己PR＞

自分の長所を、明るく伝えましょう。自分の長所が仕事に生かせる事を説明できるようにしましょう。具体的な数値（日数・時間など）を用いて、伝わりやすい表現を心がけましょう。

（具体例については、下に例示しています）

具体的な面接の内容に対する対策も大切ですが、普段からの身だしなみや所作・礼法などについて、一度見直してみましょう。言葉遣いや敬語の使い方など、普段の自分がそのまま出てしまいます。面接練習をきっかけに、「卒業した後の社会人になった自分」をイメージできると良いですね。

●北海道警察に合格した先輩体験談より【進路室前の掲示を確認しましょう】

昨年度の国際流通科から北海道警察に合格した卒業生のメッセージが、進路指導室の前に貼ってあります。その先輩のメッセージの中に「国際流通科の生徒は、検定の勉強を頑張って、勉強の仕方を学んでください」という内容が書かれていました。国際流通科の学びの中で、検定試験への向かい方や勉強の仕方という面を公務員試験の勉強にも生かした事を、後輩である皆さんに伝えたいのだと思います。進路指導室の前には、他にも千歳高校の卒業生が頑張っているメッセージがたくさん掲載されていますので、ぜひとも確認しましょう。

また、一次試験対策に力を入れて突破することができるだけではなく、二次試験対策についても準備しておきましょう。上記の就職者向け文書の中にも記述がありますが、「なぜ」「どうして」という具体が大切になります。

・志望動機と自己PRの「具体」とは

＜志望動機＞

警察官になりたい→なぜ北海道の警察官になりたいかを説明できるように

他の職業にも
置き換えて考えてみよう

＜自己PR＞

→どんな仕事内容を扱う警察官になりたいかを説明できるように

→どうして警察官になりたいのかを説明できるように（きっかけではなく具体を）

→自分が警察官になってどのように貢献できるのか説明できるように

→高校生活で身に付けたことをどのように警察官の仕事に生かせるのか説明できるように

→部活動の頑張りをどのように警察官の仕事に生かせるのか説明できるように

→資格や検定をどのように警察官の仕事に生かせるのか説明できるように

→課外活用の内容をどのように警察官の仕事に生かせるのか説明できるように

あくまでも検定については、今後の自分が頑張っていく「ツール」です。取得後に進路先でどのように活躍をしていくのが大切です。「取得したから安心」ではなく、「取得した後に活かす」ことを説明できるようにしましょう。



・ただの暗記では無く、自分の言葉で伝えられるように。
・ただ「一生懸命やる」ではなく「どうやって」頑張るのかを伝えられるように。